

※詳細はホームページ (<http://kurashitokyodo.jp>) をご覧下さい。

- 創刊号** 2012.6.25 発行  
〔争論「協同」を語る〕「震災からの復興に協同組合は有効なのか」
- 第2号** 2012.9.25 発行  
〔特集〕 生協の合併はか、非か。  
〔争論「協同」を語る〕「協同の利益で生活防衛を」「事業と組織の適正規模とは？」
- 第3号** 2012.12.25 発行  
〔特集〕 国際協同組合年なう。「協同組合の10年」を見据えて  
〔争論〕 生協・協同組合における「共益」と「公益」
- 第4号** 2013.3.25 発行  
〔特集〕 地域に愛される店とは  
〔争論〕 生協は「店舗」をどう考えるのか？
- 第5号** 2013.6.25 発行  
〔特集〕 文化事業、助成か自立か  
〔争論〕 生協と「文化」
- 第6号** 2013.9.25 発行  
〔特集〕 パーティって何？  
〔争論〕 「班」と「個配」を考える

---

**編集後記** 協同組合のシンボルは「虹の旗」です。本誌もそれにあわせて、虹の色を基調にした表紙で毎号背景の色を変えてきました。本号は創刊7号ですから、7色が一巡したことになります。

プロのデザイナーに発注するわけでもなく、本誌は編集だけでなく表紙を含むレイアウトもすべて編集委員会の素人による手作りできています。とくに苦心するのは表紙で、毎号悪戦苦闘して出来上がっていますが、若い世代にアンケートをとって見たところ、協同組合関係の7つの雑誌のなかで、本誌の表紙は3番目に評価されたという結果が出ました。

そこで「3位ではダメなんですか」という声もあるかもしれませんが、思い切って次号から表紙を一新しようと企画中です。生協は内実に比べて「見せ方」が下手だということがあらゆる場面で指摘されますが、率直に言って、出版物、機関紙、カタログ等々においても、とくに若い世代には間違いなく拒絶されるようなデザインがあまりにも多すぎるというのが筆者の感想です。では、本誌のデザインはどうなるのか。次号をご期待ください。 (志)

---

## 季刊 暮らしと協同

**2013年冬号 (第7号)**

2013年12月25日発行

編集企画：『暮らしと協同』編集委員会

編集長：杉本貴志

発行所：暮らしと協同の研究所

理事長：的場信樹

京都市中京区夷川通烏丸東入西九軒町 291

せいきょう会館内 (〒604-0851)

電話：075-256-3335

FAX：075-211-5037

E-mail: [kki@ma1.seikyoku.ne.jp](mailto:kki@ma1.seikyoku.ne.jp)

URL: <http://ha1.seikyoku.ne.jp/home/kki/>

---